

会社のシニア向け情報誌

# Senior Life

## 介護を考える

一人ひとりに合った介護サービスを選んでいただくために



# 介護を考える

## 一人ひとりに合った介護サービスを選んでいただくために

洋画家の祖母を自ら介護した経験を持ち、約25年にわたり介護現場取材してきた、介護ジャーナリストの小山朝子さん。

これまでの経験と取材で培われた視点から、現代の介護問題と、その社会的背景に迫ります。

特集後半では、元気な時に住み替える、神奈川県住宅供給公社の介護付有料老人ホーム「ヴィンテージ・ヴィラ」のスタッフが登場。

小山さんと「ヴィンテージ・ヴィラ」のお話を通し、「一人ひとりに合った介護サービス」について考えていきます。



小山 朝子さん  
介護ジャーナリスト／介護福祉士

20代から始めた洋画家の祖母の在宅介護を契機に介護ジャーナリストとして活動を展開。25年以上に渡り介護現場取材し、執筆、講演を行うほか、テレビ・ラジオ等多数のメディアでコメント。ラジオNIKKEIの番組「知ればナットク 認知症」などのパーソナリティもつとめる。著書も多数あり「世の中への扉 介護というお仕事」（講談社）が2017年度「厚生労働省社会保障審議会推薦 児童福祉文化財」に選ばれる。著書/「なぜ介護殺人は起きるのか」（監修）、「介護というお仕事」（講談社）他

### 安眠できず疲弊する 在宅介護者の実態

私が生まれ育ったのは東京の目黒区ですが、現在は横浜で暮らしています。物心ついた頃から、海と港、異国情緒とあったイメージのあるこの地に憧れを抱いてきました。目黒区の実家では、同居していた祖母の介護を母親とともに約10年間行いました。

昨今では、「ヤングケアラー<sup>(※1)</sup>」という言葉

葉も聞かれるようになりましたが、私が祖母の在宅介護をしようと決心したのは20代のときでした。祖母は自力では寝返りも打てず、医療の処置も必要な状態でしたので、自由に外出することもままありませんでした。当時、私は独身だったこともあり、祖母の介護が自分の人生に影響を与えうることを覚悟しての決断でした。

幸い私は、祖母の介護によって仕事を辞めることはありませんでしたが、近年、その大変さから家族を介護するために仕事

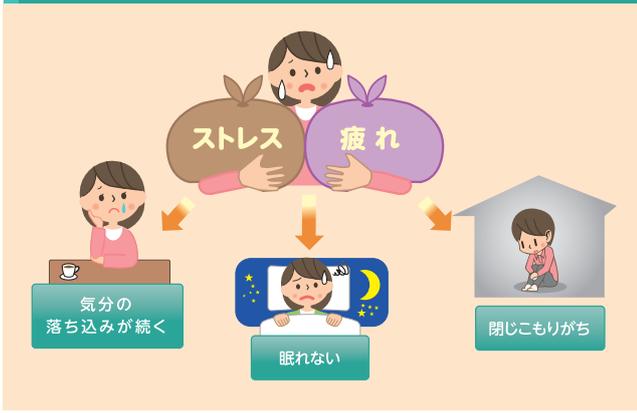
を辞めなければならない「介護離職」が増えています。厚生労働省の雇用動向調査によると、2019年に個人的理由で離職した人のうち「介護・看護」を理由とする人は約10万人にものびました。離職した方たちは、社会との接点をもたなくなることで不安やストレスが募り、「介護うつ」や「介護心中」にまで発展するケースもあり、注視されています。

また、在宅で介護する人を対象に某新聞社が行った調査によると、「介護によって精神的・肉体的に限界を感じたことがある」と回答した人は、約7割にも及んでいます。

そのような精神的・肉体的な負担を増長する要因のひとつとして、「不眠」が挙げられます。前述の調査では、介護による不眠が「続いている」と「時々ある」と回答した人を合わせると全体の約6割にのぼることがわかりました。この6割の人に「晩の間に起きる回数を尋ねると、1〜3回と回答した人が約7割を占め、4〜9回と回答した人も約1割いました。

(※1) 大人が担うような家事や家族の世話などを行う18歳未満の子どものこと

## 介護によるストレス・疲れ



この調査結果からもわかるとおり、在宅で介護する人は、社会との接点がなくなり、閉じこもりがちとなる可能性が高ることに加え、昼間のみならず夜中も介護に追われて安眠できず、疲労が蓄積されています。不眠が続いている人の約4割が「殺人・心中を考えた経験がある」と回答しており、その深刻な実態が浮き彫りになりました。

加えて現在のコロナ禍では、感染への不安はもちろん、デイサービスなど通いのサービスの休止や利用制限といった事

態が起きています。自らも外出ができず、外部に介護をゆだねづらいという状況は、在宅で介護をする人の心理的・肉体的な負担をこれまで以上に増やし、安定した介護を行うことの難しさを物語っています。

### 一般にはわかりづらい 介護保険のしくみ

私は、介護ジャーナリストを名乗り、約25年にわたり介護現場の取材を続けてきました。記事を執筆したなかで印象深い事件の一つが2005年に埼玉県富士見市で発覚した「リフォーム詐欺事件」です。この事件の被害者は、事件発覚当時80歳と78歳の姉妹。「老老介護」であり、同居している二人が認知症である「認知介護」にも該当するケースでした。

取材をしたところ、この姉妹は介護保険の申請は行っていないかったようです。介護保険を利用していれば、ケアマネジャーやヘルパーが事態に気づいて、事件を防ぐことができた可能性もあります。しかし

ながら、介護保険制度は自ら申請しなければ利用することはできません。さらに

市区町村に申請してから訪問調査・判定などの手続きを経て、介護サービスを利用開始できるまでに2か月ほど時間を要します<sup>(※2)</sup>。思い立ったらすぐに利用出来るというわけではないのです。

このように国で介護保険制度が始まってから既に20年以上が経過し、社会的にも定着していますが、未だ制度の利用に繋がっていない高齢者もいるのが実態です。

一方で、介護付有料老人ホームなどの施設に入居することは、介護を必要としている方たちが、必要な介護サービスを利用する

ための手段のひとつであると言えます。

介護付有料老人ホームでは介護職が利用者者に常に寄りそっているため安心でき、コロナ禍においても安定した介護を受けられるメリットがあるのです。

しかしながら、近年介護職の人材不足がかねてから指摘されており、コロナ禍の現在ではこの問題が以前にも増して露見しています。

ご自分にあつた介護環境を整えていただくためには、生活の場所や誰に頼るかといったところまで、事前に検討しておくことが大切です。

—— 小山さんのお話を通して、介護を取り巻く環境、介護の在り方には、まだまだ多くの課題があることが見えてきました。特にコロナ禍では、介護を巡り、これまでにない新たな課題も浮上しています。

次ページからは、ヴィンテージ・ヴィラの介護サービスがどのような体制や想いで行われているかをご紹介します。ご利用者に寄りそった「介護」について考えていきます。



(※2) 認定前でも在宅サービスなどが利用できる場合もあります

# 介護を考える

一人ひとりに合った介護サービス  
を選んでいただくために

# 元

元気な時から介護が必要となった際まで  
一貫したサポートを

将来自分に合った介護環境を選択するうえで、  
介護付有料老人ホームへの住み替えというのは  
選択肢の一つです。

ここからは、元気な時に住み替える、神奈川県住宅  
供給公社が事業主の介護付有料老人ホーム「ヴィン  
テージ・ヴィラ」の介護サービスについて、ケアスタッフ  
として勤務後、現在は本部で活躍中の藤井さんにお話  
をお伺いしました。



## 看護師 藤井 寛子さん

(一財)シニアライフ振興財団運営支援本部  
ケア担当部長  
病院勤務等を経て、(一財)シニアライフ振興財団に勤務

### ヴィンテージ・ヴィラの介護 サービスの特徴とは？

ヴィンテージ・ヴィラには約900名  
の方がご生活されており、ご体調やお身  
体の様子は千差万別です。このため、お  
食事やご入浴などの基本的なサポート  
に加え、身体機能の向上や維持を目的  
とした機能訓練を行うのはもちろんの  
こと、年1回の健康調査や協力病院に  
おいて人間ドックを行うことで、皆様  
の個々の健康状態を把握することに努  
めております。

また、ご入居者と積極的にコミュニケ  
ーションをとることで、その方の生活面  
や性格を理解し、過ごしやすい環境を  
ご用意することが大切であると考えて  
おります。

### お元気な方も介護サービスを 利用されるのですか？

常時利用することはありませんが、例  
えば体調面に不安がある場合や急な発熱  
の際には、ケアスタッフにご相談いただき、

状況に応じて医療機関にお繋ぎします。  
必要であれば、付き添いもいたします。

また、お元気な方を対象に、年に1回  
介護予防チェックを行います。その結果に  
より、介護予防が必要であると判断した  
場合は、個人向  
けの介護予防  
サービス計画  
書を作成して、  
お元気な身体  
を維持してい  
たくよう努  
めております。

このように、  
介護を必要としない方にも、継続してお  
元気にお過ごしいただけるようサポート  
しております。

### 介護が必要となった場合は？

まず、担当の介護支援専門員(ケアマ  
ネージャー)が介護保険の申請を代行し、  
ご入居者の心身の状況や困りごとを伺い  
ながら、その方に向けた介護サービス



計画書を作成します。

その後、介護サービスをご利用いただく際は、お元気な時からコミュニケーションを取っている顔馴染みのケアスタッフがご入居者のお部屋に訪問します。

また、「ケアセンター」にはケアスタッフが24時間常駐しておりますので、万が一夜間や早朝に体調が急変した際にもすぐにお伺いします。

### 「ケアセンター」とは？

ヴィンテージ・ヴィラの建物内にある共用施設となります。先ほどお話しした通り、同センター内には、24時間介護サービスにあたるケアスタッフが常駐し、静養室（一時介護室）もございます。静養室は心身の状況の変化、退院時などにより、お一人での生活が難しい場合、もしくは一時的な怪我や病気（骨折、腰痛、体調不良など）の際にご利用いただけます。

その他にも、体調面での相談や湿布を貼るといった些細なことでもお気軽にご利用いただけます。



静養室（一時介護室）

### 重度の介護状態になった場合は？

まずは、ケアセンターにて一定期間お過ごしいただきます。その後、お部屋での自立した生活が困難となった場合は、提携施設「トレクォーレ（介護型介護付有料老人ホーム）」に追加費用の負担なく移り住んでいただけます。「トレクォーレ」では、生活支援を含めた、必要な介護サービスをご利用いただきながら、日常生活を送っていただけます。ヴィンテージ・ヴィラと同様、介護状態の悪化を防ぎ、訪問診療による医療の支援や、必要に応じて受診支

援を行い、ご入居者の身体や生活を維持できるように努めております。また、日々のご生活の楽しみとして、お花や書道等の余暇活動も行っております。

### 介護サービスを行う上で大切にしていることはありますか？

ご入居者の「身体、心、生活」全てを支えていくためには、目配り、気配り、気遣いなどをもってサービスに徹する事が大切だと考えます。また、いつ、どこで、どの場面においても、ご入居者に迅速で丁寧な対応を行うために、スタッフ間の連携を強化し、ケアサービスを遂行するよう日々の教育に力を入れております。

また、介護サービスはご入居者自身ができることに目を向けるばかりではなく、できることに着目し、継続してもらつこと、すなわち、残存機能を有効に活かして心身の向上、維持をしていただくことが大切であると考えております。「できていないことはできるように」「できることは継続できるように」することがお元気にお過ごしいただくためのサポートに、繋がると思います。

## 感染症流行時の対応は？介護サービスは？

体調不良時は、すぐにケアセンターに報告していただきます。その後、ケアスタッフがご入居者のお部屋に訪問して様子伺い、医療機関を受診していただきます。

感染していた場合、介護を必要としない方は、お部屋で生活いただきます。お食事は毎食配膳し、共用施設の利用は控えていただいております。体調の悪化がみられる場合は再度受診していただき、必要時には入院等の手配をいたします。

静養室をご利用いただいている方は、引き続き静養室でお過ごしいただきながら、ケアスタッフが体温等の体調管理と必要な日常生活のサポートを行います。

他のご入居者にウイルスが媒介しないように、スタッフは、ガウンや特殊マスクで対応しながら静養室にお住まいの方とお部屋にお住まいの方の担当を分けて介護サービスを行います。



# 「高齢期の住まい選び」まず、現地に行こう！見学ポイント

コロナ禍で「自宅に居ながら買い物」の機会が増えましたが、「終の棲家」をリモートで購入することはできません。住み替えで早めに行っておきたいのが「現地での見学」。ところが、見学に不安を抱く方も多いようです。行ってみることでわかること、体感できることがたくさんあります。感染対策を万全にして、一歩進んでみましょう。もっと気軽に、見学を！



## パンフレットではわからないこと

「高齢者の住まいへの住み替え」を考えると、まず資料請求をすると思います。事前に情報収集をするには最適な方法ですが、「資料を持っているだけで安心」してしまい、次の行動に移れない人が少なくありません。

しかし、命とお金を預ける終の棲家を簡単に、ましてすぐに決められるわけではないので、関心を持った時には「見学」までは済ませておきたいもの。見学は時期を変えて何度でも行くことが可能です。現地に行くからこそのわかること、行かないとわからないことが実はたくさんあります。

## 見学のステップ

では、どのように見学をしたらよいでしょうか。見学前に、簡単でよいので概要をつかんでおくイメージが

つきます(図1)。特

に施設の特徴や事業者はどのような企業なのか、押さえておきたい部分です。

コロナ禍の折、見学時間や視察可能な範囲が制限されるところが多く、本来は実施しておきたい昼食試食も難しいところが増えている

ようです。でもせっかくの見学ですか

ら、事前に念のため試食が可能か聞いてみましょう。有料でも試食はお勧めです。食事内容だけでなく、厨房スタッフや入居者の様子もさりげなく

感じることができます。

また、パンフレット等から関心のあることや、質問したいこともメモにまとめておくとういでしょう。見学した施設が候補になりそうなら、さらに具体的な資料も入手しておきたいもの。特に重要事項説明書は法律で交付が義務付けられている大切な資料です。早めに確認しておきましょう。

## 見学前にしておきたいPoint!

- ① パンフレットで施設の概要確認
- ② 事業主体はどんな企業か確認
- ③ (可能なら) 食事の試食を依頼
- ④ 関心のあること、聞きたいことをメモ
- ⑤ 現地で入手したい
  - ・間取り図など具体的な居室イメージ
  - ・重要事項説明書
  - ・経営資料 (財務諸表など)

歩きなれた  
脱ぎ履き  
しやすい靴で



【図1】

## 見学後の「まとめ」も大切

せっかく見学に行っても「あまり覚えていない」という人が多いようです。ぜひ帰宅後に「復習」をしてみてください。感想をメモしておく、他の施設と比較するときに役立ちます。

## 見学で確認しておきたい! (現地に行かないとわからないこと)

高齢者の  
住まいは  
「人」による  
サービスです

### 設備

- ・建物の外観も中も美観が保たれているか
- ・居室の設備や動線は使いやすいか
- ・共有スペースに汚れや臭いはないか
- ・しっかりメンテナンスがされているか

### 職員

- ・明るくさわやかな対応か
- ・言葉づかいに問題はないか
- ・質問に明確に答えてくれるか

### 入居者

- ・ロビーや共有スペースに入居者はいるか
- ・職員と入居者は親しみやすく接しているか
- ・入居者の様子は自分の雰囲気合うか

現地でしかわからない『設備』『職員』『入居者』という「3つのポイント」があります(図2)。パンフレットからは読み取れない、その場の空気のようなものですが、これは非常に重要です。「高齢者の住まいは、住宅を買うのではなく、サービスを買う」ということ。それは「人」が大きく関係します。現地で「人」を感じることで、「合う・合わない」もわかるはず。良し悪しはその人により感覚が異なります。自分なりの「合う」を見つけるためにも、現地に訪れることがとても大切です。

可能なら入居者と同じ食事を試食しておきたい。味覚が合うかどうかだけでなく、ダイニングの雰囲気、食事の提供のされ方、メニューの種類など確認したいことが多い。



【図3】

【図2】



【図4】

高齢者に配慮した設備の一例。  
一般住宅では、コンセントの位置は床に近いところに設置されているが、足腰に負担が少なくなるよう、高齢者住宅では、少し高い位置に設置されていることが一般的。



【図5】

水回りにも設置されている「緊急通報ボタン」は重要! トイレの場合、座ったままでも、万が一床に倒れた場合でも手を伸ばせば押しやすい位置にあるかどうか確認を。普段でも押しづらい位置であれば問題。

### 著者PROFILE

山中 由美  
YAMANAKA Yumi

エイジング・デザイン研究所 代表

国内外の高齢者住宅800ヶ所以上の視察・調査、高齢期の生活設計(住まい・お金・社会保障)についての執筆・講演などを行う。  
1級ファイナンシャル・プランニング技能士、福祉住環境コーディネーター、他。



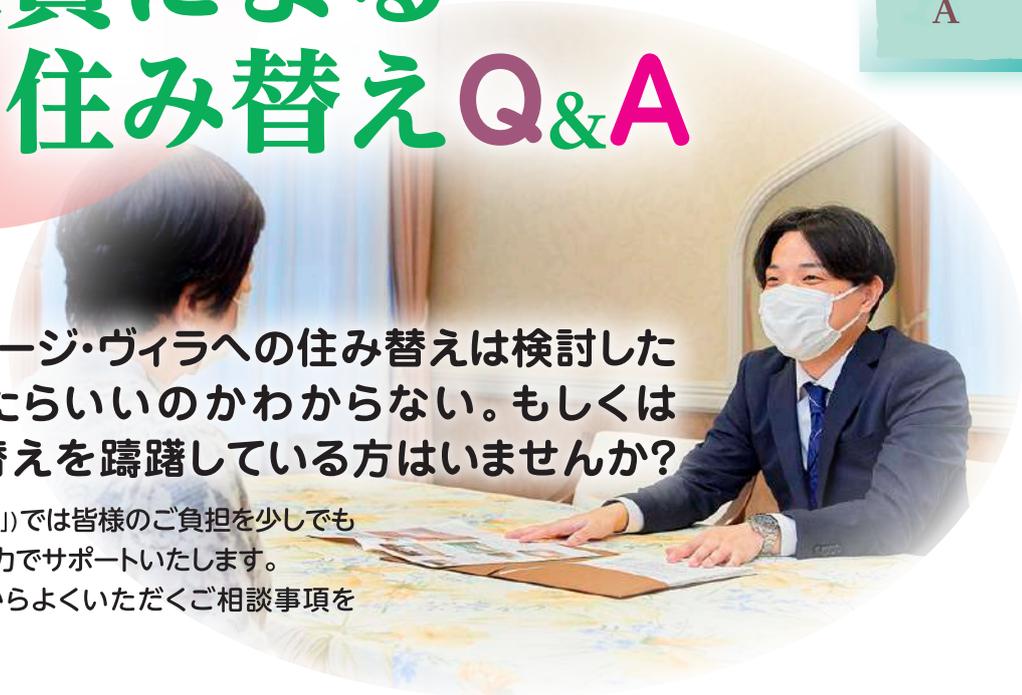
見学ポイントはたくさんありますが、高齢者住宅ならではの工夫などを数点紹介しておきます(図3、図4、図5)。これまでの高齢者の暮らしの中から、できるだけ危険を排除し、安全対策を積み重ねてきた施設づくりでは、学ぶことが多いです。自身の目で確かめてみてください。  
\*施設見学は必ず事前に問い合わせと予約を行ってください。

# ヴィンテージ・ヴィラ 入居相談員による 住み替えQ&A

将来のため、ヴィンテージ・ヴィラへの住み替えは検討したいけど、何から始めたらいいのかわからない。もしくは準備が大変で住み替えを躊躇している方はいませんか？

神奈川県住宅供給公社(以下「公社」)では皆様のご負担を少しでも軽減できるよう、入居相談員が全力でサポートいたします。

そこで、本ページではお客様からよくいただくご相談事項をもとにご紹介いたします。



**Q 高齢者向け住宅が増えすぎて違いがよく分からないわ・・・**

**A まずは、公社主催のセミナーや個別見学会にご参加ください**

公社では、年に数回、高齢者向け住宅の基礎知識や住み替えに関するセミナーを実施しています。

その他、個別相談会や見学会も随時開催しており、入居相談員がマンツーマンでご案内いたしますのでご心配なことやご不明点などお気軽にご相談いただけます。



2019年撮影



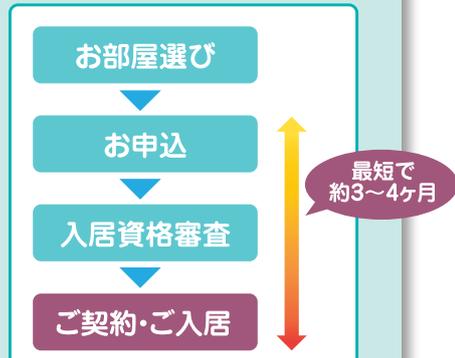
**Q すぐ住み替えできるの？**

**A 一定の期間が必要です  
6ヶ月前くらいからご相談  
いただくのがお勧めです**

お申込からご入居までの手続きには、概ね3~4ヶ月(※)かかります。

お住み替えの際は、まずお部屋をどこにするか決めていただきます。ご希望の間取りや階数、予算にあったお部屋が空いているとは限りませんので、余裕をもって6ヶ月前くらいからお部屋選びなどご相談をいただくとスムーズです。

お部屋を決定後、必要書類のご提出や入居資格審査、ご契約手続きがございます。各種のお手続きは、入居相談員が丁寧にご案内いたしますので、ご安心ください!



(※)資産売却やお部屋の修繕状況により、異なります。



**Q 住み替えるとなると自宅はどうしよう・・・**

**A お客様のご希望やお住まいのエリアから選定した複数の不動産業者をご紹介します**

お住み替え時にご自宅の売却等を検討したい方へ提携している複数の不動産業者をご紹介します。

不動産の売却が初めてという方にも分かりやすくご説明させていただきます。

ご紹介する不動産業者の一例

- ウスイホーム(株)
- 小田急不動産(株)
- 神奈川ロイヤル(株)
- 京急不動産(株)
- 野村不動産ソリューションズ(株)
- 三井不動産リアルティ(株)

※各社仲介手数料の割引等の特典あり!

**Q これから家具や家電を自分で選ぶのは大変だよなあ・・・**

**A 家具・家電の購入をお手伝いします**

お使いの家具や家電では、住み替え後のお部屋によってサイズが合わないという場合もございます。

公社では、提携している家具・家電販売店をご紹介しますので、お客様のご希望や居室に合わせた適切な品物をお選びいただけます。また、ご希望の方には店舗への同行もいたします。



高齢期のお住み替えは大変だと伺っております。当社ではお部屋に合った商品をご提案させていただき、快適にお過ごしいただけるよう弊社とともにサポートさせていただきます。

(株)家具の大正堂 本店  
グループマネージャー 田中さん



**Q 自宅の荷物の整理や引越しが大変そう・・・**

**A 荷物の梱包や廃棄処分などのご要望に合わせて、引越し業者をご紹介します**

引越し業者の種類が増え、どこにお願いしたらいいかわからないという方も少なくないのではないのでしょうか。

過去実績のある複数の引越し業者から、お客様のご希望に合う業者をお選びいただけます。業者がご自宅へ見積もりに訪れる際、一人ではご不安な方は、一緒に立ち会いをいたします。

ヴィンテージ・ヴィラへのお引越のご案内につきましては、当社営業スタッフにてご自宅へご訪問させていただき、スケジュール、御見積を含めお客様のニーズに添ったプランニングのお手伝いをさせていただきます。



(株)サカイ引越センター  
西関東A法人課 山本さん



その他にも、ご入居までのスケジュール調整や、館内の雰囲気を実験していただく体験宿泊のご案内など、入居相談員のサポートは多岐にわたります。高齢期のお住まいを検討している皆様にとって、将来のために安心して快適な住まいをお探しになることは、並々ならぬことと存じます。皆様のご不安やお困りごとを少しでも解消させていただけるよう努めてまいりますので、お気軽にご相談ください。ご連絡お待ちしております。

# 勇気をもって一歩踏み出すことが

# 肝心だと思えます

ヴィンテージ・ヴィラ横浜へご入居された新井様をお迎えしました。ご自身のライフスタイルに合った環境、設備をよく検討されて入居を決定された経緯や入居後の暮らしぶりを、神奈川県住宅供給公社の入居相談員を交えて伺いました。

ヴィンテージ・ヴィラ横浜に入居を決められた理由を教えてください

**新井様** 妻との会話で、「どちらかがいずれ入になったらどうしようか」と話したのがきっかけでした。妻が亡くなつてからは

娘の助言もあり、神奈川県住宅供給公社が事業主の「ヴィンテージ・ヴィラ」を検討しました。私の中では、趣味であり健康

の秘訣でもある散歩ができる環境が整っていること、歌を歌える場があることが大切な条件でした。そこで、公社へ相談に行き、相談員の方から紹介された「ヴィンテージ・ヴィラ横浜」に決めました。

**相談員** ヴィンテージ・ヴィラ横浜は、四

季折々で表情を変える自然や、整備された遊歩道が魅力的な物件です。また、館内にはカラオケ用のオーディオルームもあり、新井様にはぴったりですね。

**新井様** 実際に見学してみると、大好きなサウナもありました。そこも決め手の一つでしたね。

感染症流行時の入居にあたって大変なことはありませんか

**相談員** 感染対策のため、ご見学時にお食事を体験していただかなかつたり、ご入居までの手続きが思うようになかなかつたりとみなさまにはご迷惑をおかけしております。



ヴィンテージ・ヴィラ横浜 ご入居者

**新井 康市**様(91歳)



**新井様** 私は、体験宿泊の際に食事もいただけましたし、手続き面でも特に不便だと感じることはなかったですよ。

入居してからのご生活は  
いかがですか

**新井様** 入居してから大きく変化したのは体重です。以前60kgくらいありましたが、入居前には53kgまで落ちていました。それが入居後半年で56kgまで戻ってきました。規則正しく、栄養バランスを考えた食事を取らせてもらっているおかげだと思います。

また、私は85歳までゴルフをやってお

りましたが、現在は散歩をしています。毎日2時間から2時間半歩いており、とても調子がいいですね。さらに歌を歌うのも趣味です。カラオケも楽しんでいきます。入居者の中には、歌が得意な方もいらつしゃるので、「先生」になつていただいてアドバイスをもらつたりしています。不思議と同年代で共通の趣味を持つている方と繋がる機会に恵まれたりするんですよ。

相談員の方は入居後に「ここは良かった」という声をいただくこともあるんですよ

**相談員** ご入居前はお惣菜を買って

済ませていた方が、出来立ての温かい食事を食べられると喜んでくださったり、ジャグジーのある大浴室が毎日の楽しみというお話をいただくこともあります。また、生活相談員やケアスタッフ等、いざという時に誰かが常にそばにいたことが何より安心だというお声もありました。

**新井様** 私も先日足が腫れた際、不安に思い、ケアスタッフの方に相談し

たことがあります。すぐに症状を見て車で病院へ付き添っていただけ、そういったことも一人ですと不安です。とても助かりました。



最後に有料老人ホームへの入居を検討されている方へアドバイスを  
願います

**新井様** 多くの方は入居時の資金面の心配を抱えていると思います。

また、なかなか決断できずに悩まれる方も多いと思いますが、将来のために勇気を出して乗り越えないといけないと思います。

**相談員** 最近が高齢者向けの住まいが増え、非常に分かりづらいというお声を多くいただきます。私ども入居相談員は、皆様の不安やお悩みを少しでも軽減し、納得のいく住まい選びをしていただけるように心がけております。

また、実際にご入居される皆様が一番苦労されたとおっしゃるのが「引越」と荷物片づけです。やはり心身ともに負担がかかりますので、お元気なうちから少しずつ進めていただくことが一番かと思えます。私共も微力ながらサポートさせていただきます。することもございますので、ぜひお気軽にご相談いただければと思います。



入居者インタビューの様子を撮影した動画をHP上に掲載しています。QRコードから是非ご覧ください。

# 神奈川県住宅供給公社の介護付有料老人ホーム(入居時自立) ヴィンテージ・ヴィラ



## ヴィンテージ・ヴィラ 横浜

所在地：横浜市旭区若葉台4-26  
JR横浜線「十日市場」駅下車、バス約13分  
東急田園都市線「青葉台」駅下車、バス約21分



## ヴィンテージ・ヴィラ 向ヶ丘遊園

所在地：川崎市多摩区长尾4-3-3  
JR南武線「宿河原」駅下車、徒歩約8分  
JR南武線・小田急線「登戸」駅下車、バス約7分



## ヴィンテージ・ヴィラ 洋光台

所在地：横浜市磯子区洋光台4-33-25  
JR根岸線「洋光台」駅下車、徒歩約10分



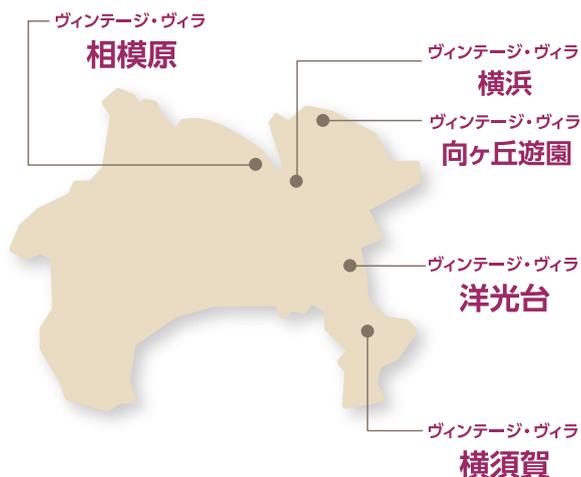
## ヴィンテージ・ヴィラ 相模原

所在地：相模原市南区上鶴間本町2-17-16  
JR横浜線・小田急線「町田」駅下車、徒歩約5分



## ヴィンテージ・ヴィラ 横須賀

所在地：横須賀市西逸見町1-38  
JR横須賀線「横須賀」駅下車、徒歩約5分  
京急線「逸見」駅下車、徒歩約5分



これから住み替えをお考えの方に

シニアライフ  
倶楽部 会員募集中

入会金 年会費 無料

◎情報誌「Senior Life」をお届け  
◎見学会・セミナーのご案内をお届け

見学お申込み & お問い合わせ

神奈川県住宅供給公社 高齢者事業部 (平日9:00~17:00)

0120-428-660

〈本誌に掲載している内容は、令和4年5月現在のものです。一部有料サービスを含みます。〉

